

平成18年度 施策評価シート

総合計画における位置付け等

平成18年 月 日記入

基本目標	学びあいあたたかさのある福祉文化都市をめざして	施策コード	11530
政策名(章)	第1章 安心して生活できる福祉社会をつくります	評価担当部	保健福祉部
基本施策名(節名)	第5節 社会保険制度の充実に向けて	評価担当課	介護保険課
施策名	介護保険制度の円滑な運営	課長名	鈴木一夫

1 施策の目的・概要(目的はわかりやすく記入)

介護保険は、介護が必要な高齢者とその家族を支える制度で、40歳以上の被保険者が納める保険料と国・県・市からの公費を財源として運営され、被保険者が介護や支援を必要とする時に、介護サービスを利用する費用に充てることで被保険者とその家族を支える仕組みである。
平成12年度に介護保険制度がスタートして6年が経過し、要介護認定者数は、平成12年度の約7300人から平成17年度は約14000人となり、介護保険制度は浸透してきている。

2 事業費・人員

年度	平成14年度(決算)	平成17年度(決算)	増減の主な理由
事業費		17,176,945	平成12年度から開始された介護保険制度の浸透に伴い、認定者数が増加したことにより事業費(保険給付費)が増加した。 <参考> 認定者数の推移 平成12年度 7310人 平成14年度10,083人 平成16年度12,714人 平成17年度13,760人
人件費		362,250	
市民一人あたりの事業費	18,693	26,296	
合計	11,514,961	17,539,195	

*人件費は、職員一人あたり H14:839万円、H17:805万円として算定。人口は、61.6万人(H15.4.1現在) 66.7万人(H18.4.1現在)とした。

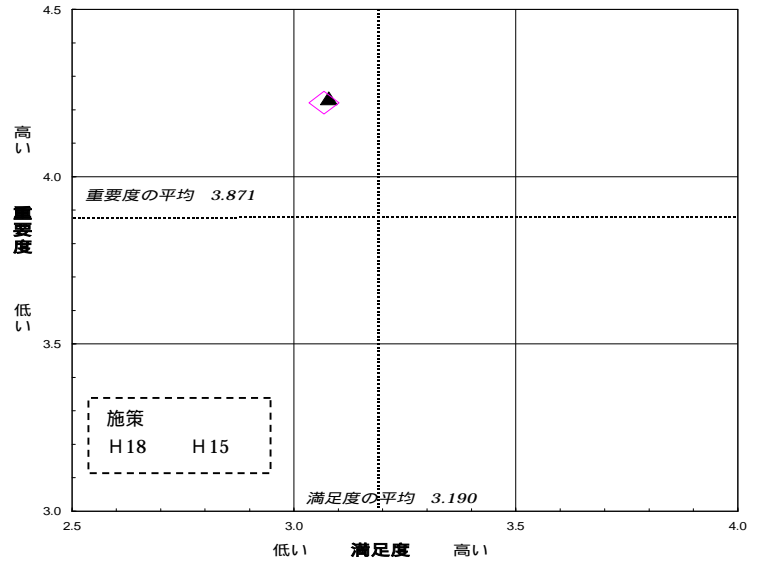
3 成果・活動指標

	指標名	指標の基準値の定義	基準値(単位)	基準年度
指標1	介護サービスに対する満足度 <サービスの満足度>	概ね満足 / 回答者数 × 100	88%	h16
指標2	介護保険制度に対する満足度 <介護保険に対する評価>	概ね満足 / 回答者数 × 100	77.90%	h16
指標3	要介護認定を受けている高齢者の割合	要介護認定者(2号除く) / 65歳以上人口 × 100	12.80%	h16
指標4				
指標5				

	H17目標値/実績値	中間年度	中間年度の目標値	最終年度	最終年度の目標値	目標値の考え方(根拠)
指標1	_____	19	89%	21	90%	介護サービス利用実態調査から、サービスに対する満足度を把握する
達成率	#DIV/0! %					
指標2	_____	19	79%	21	80%	介護サービス利用実態調査から、介護保険に対する満足度を把握する
達成率	#DIV/0! %					
指標3	_____ 13.25	19	13.95%	21	13.77%	65歳以上人口に占める要介護認定者の割合
達成率	#DIV/0! %					
指標4	_____					
達成率	#DIV/0! %					
指標5	_____					
達成率	#DIV/0! %					

4 市民満足度調査結果(平成18年度実施分)

この施策の満足度は3.068で51施策の中で42番目。
 重要度は4.221で7番目である。
 改善要望度は0.3338で7番目である。
 年齢別にみると、満足度は60歳代以上で高く、30、40歳代で低くなっている。
 重要度は、順位でみると40歳代以上で上位10施策に入っている。
 前回調査と比較すると、満足度、重要度とも施策の順位に大きな違いはみられない。
 満足度の順位では、60歳代、70歳以上で前回調査より大幅に下がっている。
 重要度の順位では、50歳代で前回調査より上がっている。



5 1次評価(3つの視点から評価を行う)

視点の種類	評価基準・着眼点	評価点	それぞれの視点に対して評価の具体的根拠	
有効性	各事業が果たす施策に対する目標の達成度合いを把握し、効果の高い事業を実施している	④ 2 1	介護保険制度の実施により、高齢者の介護を社会全体で支えあうこととなり、サービス量やそれに伴う利用者の増加等サービスの充実が図られている。	
効率性	最少経費で最大効果が得られる事業構成となっている	4 ② 1		
市民満足度	市民満足度調査により市民ニーズを把握し、市民の立場に立って事業展開している	4 ② 1		
合計		8	評価結果に基づく区分(4項目の合計点数による) A(12から10点) B(9から5点) C(4点以下)	1次評価 B

* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

6 課題と解決策(現状または、評価結果から)

課題	介護保険制度では、要介護の認定からスタートし、ケアプランの作成、サービス事業者の決定、サービスの給付というプロセスを経るが、利用者にとっては、ケアマネージャーによる最適ケアプランの作成やサービス事業者の介護の質的向上が重要であり、さらに利用者のサービス向上に努めていくことが必要である。
解決策	利用者の状況の把握や事業者の研修や指導を強化していくことが必要である。

7 2次評価及び意見(1次、2次で評価に相違がある場合など、必要に応じて意見を記入)

解決策の具体的な方法を検討・実施し、成果の向上を図る必要がある。	2次評価 B
----------------------------------	-----------

* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

8 3次評価及び意見(評価結果及び課題・解決策について、必要に応じて意見を記入)

	3次評価
--	------

* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

